

# 株式会社フレスタ

フレスタグループ本部/広島県広島市

株式会社フレスタは、広島県内初となるスーパーマーケットを開業する等、広島県を中心に中国地方でスーパーマーケット事業を展開されている創業から130年以上の歴史を有する企業です。また、近年注目されている食品宅配事業に2000年代初頭より参入されるなど、時代によって変化するお客さまのライフスタイルに応じた最適な商品や、サービスを提供されています。

本事業では、フレスタグループ本部の移転にあわせて自社、および地域の防災対策の取り組みとして、停電対応型CGSを導入されました。



フレスタグループ本部 外観

## 補助事業の概要

- 導入設備: 停電対応型CGS 35kw×6台
- 補助金額: 90,295千円
- 導入方式: エネルギーサービス方式

## 事業者様の声

## 補助金を用いた設備導入の経緯と効果

株式会社フレスタホールディングスグループ運営推進担当 重村 俊幸様

当社は、スーパーマーケット事業で取り扱う商品の更なる付加価値の創出、および他企業への販路拡大に向けた取り組みとして、各地に点在していた総菜や食肉のプロセスセンターと当社の本部機能を一拠点に集約させ、生産機能強化と生産性向上を図ることで、新たな事業形態(製造小売業)へ展開する際の中核となる新工場の整備を計画しておりました。

計画にあたっては、①新工場の建設予定地が平成30年に発生した西日本豪雨による被害を受けた地域に位置していること、②風水害によって当社の各店舗が大きな被害を受けた経験があること、以上を踏まえて事業継続性の強化対策についても協議を行いました。

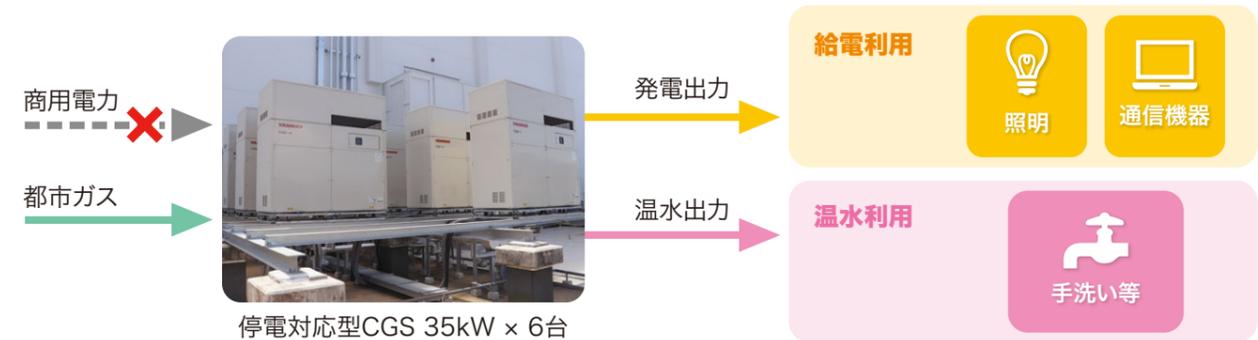
また、当社は、本社を置く広島市様と災害時における物資提供に関する協定を締結するなど、かねてより自治体と連携した地域防災に積極的に取り組んでおり、「地域防災力の充実化」に紐づいた方針としていた新工場の整備計画においても、自治体等と協議を重ねた結果、災害時に近隣住民の方々に当社施設を避難所として活用いただくことにしました。こうした経緯を背景に、新工場の整備計画においては、災害時における当社本部の機能維持と、避難所の開設に必要な防災用電源の導入に関する検討を行うに至りました。

検討にあたっては、災害時には新工場内に移転する当社本部機能および避難所機能が維持できること、平時には、生産ライン稼働時の省エネルギー化に寄与できること、これらを前提とした検討を進めた結果、停電対応型CGSが最適であるとの結論を得ました。導入においては、当補助金を活用したエネルギーサービス方式による設備導入を行うことで、コスト面における対応を図ることができました。

今回の設備導入により、平時の省エネルギー化はもちろん、有事における事業継続性の向上につながったものと認識しています。また、豪雨災害により大きな被害を受けた地区の緊急時退避場所に、停電対応設備が導入されたことは非常にありがたい、と自治体様から感謝の言葉をいただいたことから、微力ながら地域へ貢献できたものと考えています。

## 平時・災害時のエネルギーシステム

- 停電時**  本部機能の維持に必要な設備(照明、通信機器等)の継続使用を可能にするだけでなく、避難所の開設に必要なサービス(照明、スマホ充電等)の電源となる
- 平時**  消費電力量の低減やピークカット等により、省エネルギー化に寄与



## 災害時における施設の機能



避難スペースの一例 (5F 機械室)

- 施設の4階以上の共用部分(廊下等)に、最大2,000人の地域住民等を受け入れることが可能
- 停電対応型CGSで発電した電力を、事務所の照明や、通信機器に給電することで本部機能を維持
- 避難所として開放するエリアにも給電し、照明の確保や携帯電話の充電エリアを開放する計画

## 継続的に使用できる主な設備



フレスタグループの  
事業継続性向上に寄与

地域住民に  
安心・安全を提供